

2011年 日本感性工学会各賞表彰

日本感性工学会各賞授与式が、平成23年9月3日(土)9:30-10:00 第13回日本感性工学会大会中、工学院大学新宿キャンパスで開催されました。

論文賞・技術研究賞・事例研究賞

賞の名称変更・新設について

本学会の論文の形態の多様化に対応して、技術賞などの名称が適当ではない論文が増えてきた。よって、「論文賞」はそのままに、「技術賞」を論文の形態に合わせて、名称変更・新設することとした。

- (1) 論文賞 原則として前年1月より12月までの「Kansei Engineering International Journal」または「日本感性工学会論文誌」に掲載の Original Articles の中で、創意があり学術的に高い価値を有すると認められたもの。
- (2) 技術研究賞 原則として前年1月より12月までの「Kansei Engineering International Journal」または「日本感性工学会論文誌」に掲載の Original Articles の中で、創意があり技術的に高い価値を有すると認められたもの。
- (3) 事例研究賞 原則として前年1月より12月までの「Kansei Engineering International Journal」または「日本感性工学会論文誌」に掲載の Original Articles の中で、創意があり事例研究として高い価値を有すると認められたもの。

論文賞(1件)

飽きを感じる感性のモデル化に関する研究

稲村博央, 野間裕子, 萩野晃大, 庄司裕子

日本感性工学会論文誌, 第9巻2号通号026号, pp.251-257

[受賞理由]

飽き(マンネリ感)という主観的な評価の過程を、「類似した刺激の連続に対する主観的な評価の低減」という観点からモデル化した興味ある試みで、感性工学としての将来性に富むアプローチであることが認められ、今後の発展が期待される。

技術研究賞(1件)

嚙下性に優れた錠剤形状の研究

佐藤英明, 齊藤静男, 林豊彦

日本感性工学会論文誌, 第9巻2号通号026号, pp. 137-143

[受賞理由]

飲み下しやすい性質(嚙下性)は、人間工学的には、その物理形状でほぼ決まるが、一方、感性的には、飲みやすさの判断は、必ずしも物理的な形状だけでは決めることができないことを実証的に示している。分析手法としてはオーソドックスであるが、感性工学らしい現象の発見と分析に挑戦した論文であると評価できる。

事例研究賞(1件)

ル・コルビュジエの東方への旅における「壁」への感性

千代章一郎, 萩野亮

日本感性工学会論文誌, 第9巻2号通号026号, pp. 171-178

[受賞理由]

ル・コルビュジエの系統的な研究の一つの集成として、建築における意味論の解釈に対して感性工学的なアプローチを試みている。感性工学的な事例研究の一つの形としても、面白い論文と評価できる。

以上

日本感性工学会 論文賞・技術研究賞・事例研究賞 選考委員会
委員長 加藤俊一(中央大学)
委員 椎塚久雄(工学院大学)
庄司裕子(中央大学)

出版賞・感性コミュニケーション構築賞

賞の内容:学会員が主体となって出版した感性工学に関わる著書。推薦された候補から所定の選考委員によって選び、表彰する。2008年以降の出版物が対象。

出版賞(該当なし)

感性コミュニケーション構築賞(1件)

書名:そそるマーケティング
出版社:ダイヤモンド社
出版年:2011年7月
著者:電通感性工学ユニット

[受賞理由]

AIDMA はじめ買物行動を認知過程風に論じたものは多数あるが、多様な選択肢を対象に「なんとなく選択」する事象に注目し、その決定過程を仮説演繹的に表現しようとは意欲的である。工学的に見れば測定装置に乏しく、違和感があろうが、構成概念だけで処理するのもまた「論」である。その点、著者が電通であるだけに豊富なデータに裏付けされ、記述内容の信頼性を高めている。また、人間の認知的限界の一端をさりげなくそして良く説明している。

以上

日本感性工学会 出版賞選考委員会
委員長 大谷 毅(信州大学)
委員 大倉典子(芝浦工業大学)
加藤俊一(中央大学)
庄司裕子(中央大学)
高寺政行(信州大学)
竹川亮三(シンカデザイン)
布川博士(岩手県立大学)

第12回日本感性工学会大会 優秀発表賞

大会優秀発表賞は前年度大会での発表の中から優秀な発表を行った若手会員を奨励するものである。

1. 五代真規 (千葉工業大学)

サステナブルな社会を目指すプロダクトデザイン研究 ～文化と環境の二つの視点から～

2. 押田幸宏 (千葉工業大学)
発想支援における言語刺激とイメージ刺激の違い
3. 増田 恵 (名古屋工業大学)
ラバン身体動作表現理論に基づいた ヒューマンフォームロボットの身体動作への感情付加手法
4. 小山弘起 (青山学院大学)
映画企画出資決定評価モデル“A-MPM”構築に関する研究 ―映画製作者間のパートナーリング―
5. 工藤 彰 (東京工業大学)
デジタル人文工学における文学解釈の可能性
6. 石橋 賢 (北陸先端科学技術大学院大学)
感性情報マップを用いた画像検索システムの提案
7. 高田知紀 (東京工業大学)
河川整備事業における「局所的風土性」をふまえた合意形成プロセスの構築
8. 馬場園晶司 (文化ファッション大学院大学)
LANVIN(Alber Elbaz)についてデザインの予測
9. 山田雄紀 (和歌山大学)
高齢者のインタフェース操作時におけるメンタルモデルに関する研究の概要
10. 河野浩士 (サレジオ工業高等専門学校)
伝統芸能狂言のひとり稽古支援システムのスマートフォン移植について
11. 福多賢太郎 (室蘭工業大学 SVBL)
生命ソフトウェアとメディアインタラクション
12. 浅野裕俊 (青山学院大学)
安全運転支援を目的とした生体情報による運転者の状態検出
13. 大根田知也 (中央大学)
デジタルサイネージを用いたアクティブセンシングによる感性のモデル化と購買支援への応用
14. 兵動靖英 (ソニー株式会社)
空気遠近法に基づいた 3D 画像の奥行き制御技術
15. CHAN YUET SIM (株式会社アルビオン)
化粧品の高級感に関する言語表現
16. 水野統太 (東京工芸大学)
両手間における仮現運動の刺激条件の検討
17. 陳 曦 (静岡大学電子工学研究所)
脳活動の非対称性と吉田法による音刺激の評価

以上

第 12 回日本感性工学会大会優秀発表賞選考委員会

委員長 往住彰文(東京工業大学)

委員 桑子敏雄(東京工業大学)

村井 源(東京工業大学)

いずれも受賞対象は学会会員.